懇話会の目的・進め方

資料1

堺市 SAKAI CITY

- 堺都心部は、商業・業務・居住等の多様な都市機能や歴史文化資産が集積し、本市の発展をけん引する地域です。
- 本市では、堺都心部の活性化をめざして、取組の方向性や概ね20年後の将来像を示した「堺都心未来創造ビジョン」を令和5年に策定し、現在、当ビジョンに基づき、堺東、堺駅・堺旧港、環濠の各エリアにおいて、様々な取組を進めています。
- 当懇話会では、堺都心部の活性化に向けた各エリアでの取組効果が高まるよう、概ね20年後を見据えた交通体系のあり方について、有識者からご意見をいただくことを目的とします。

堺都心部概要位置づけ

- 検討対象区域
- 堺都心部を取り巻く状況
- 堺市及び堺都心部の交通網
- 堺都心部に関する主なビジョン等

現状 社会変化 ニーズ

- 堺都心部の現状
- 事業者等ニーズ
- 概ね20年後に想定される社会・都市環境の変化

将来の都心交通

- 都心交通のコンセプト・方向性
- 都心交通の方向性の実現に向けた取組方針
- 都心交通のあり方とりまとめ

検討対象区域

資料1

多様な都市機能が集積する本市の中心的な拠点である堺都心部（概ね下図の範囲、約400ha）を対象とします。



堺市及び堺都心部の交通網

資料1



国道26号



阪堺線



シェアサイクル

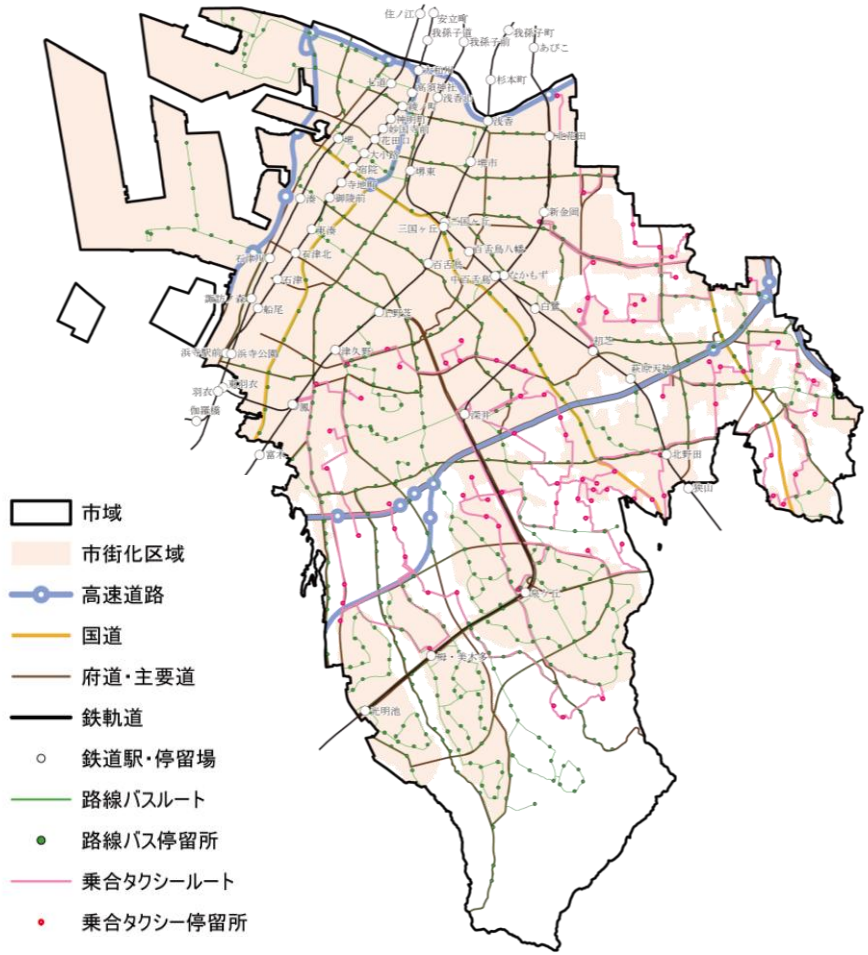




世界遺産・気球シャトルバス



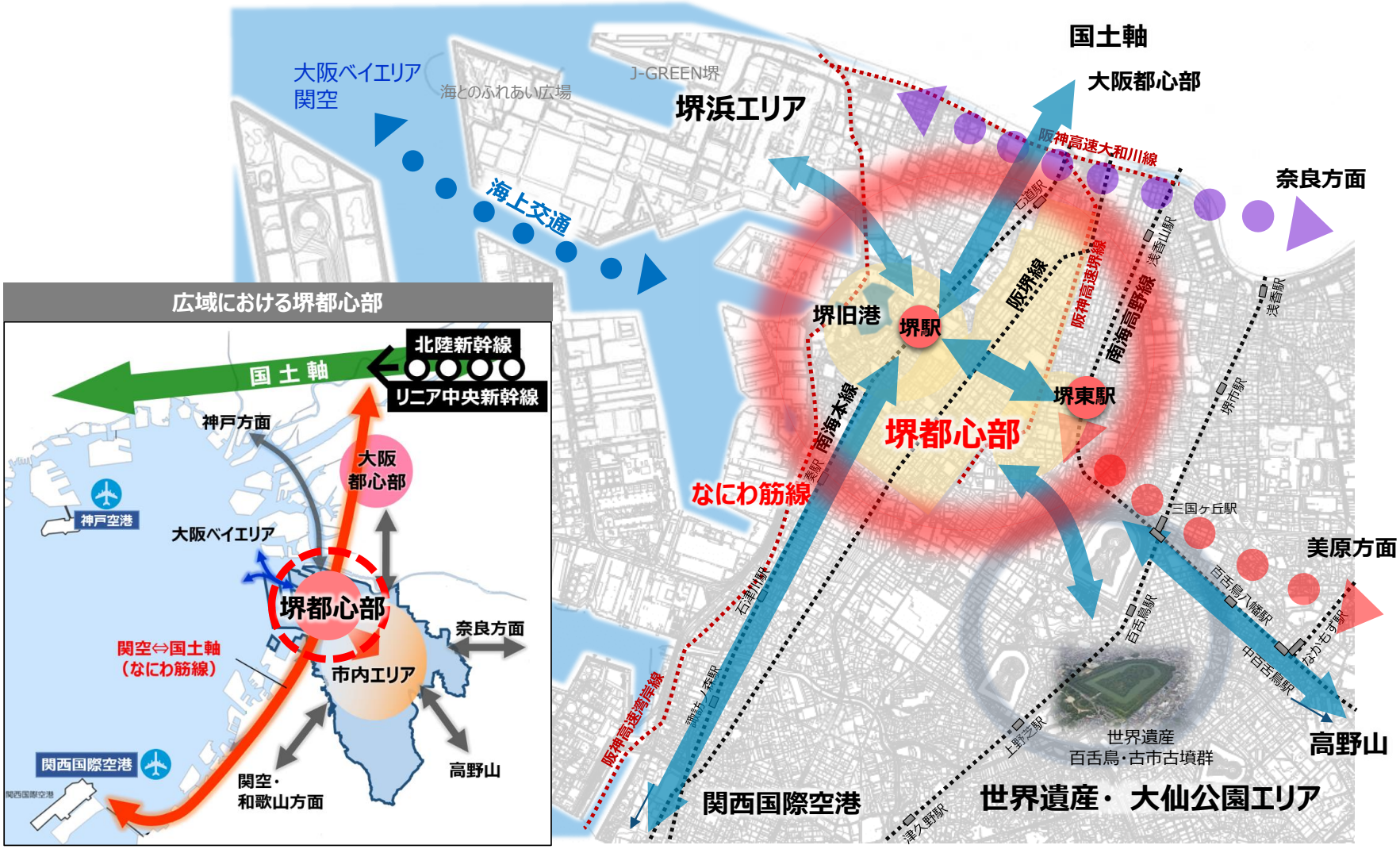
堺シャトルバス



堺都心部を取り巻く状況

広域アクセス性が高まり国内外からの来街が期待

堺都心部は、広域アクセス性が高い交通ネットワークを有しています。今後、2031年に予定されているなにわ筋線開業を契機に国土軸・大阪都心部や関西国際空港、大阪ベイエリアなど、多方面からのアクセス性がさらに向上し、国内外からの来街が期待されます。



連続立体交差事業により多様な人が集い交流する拠点の形成を期待

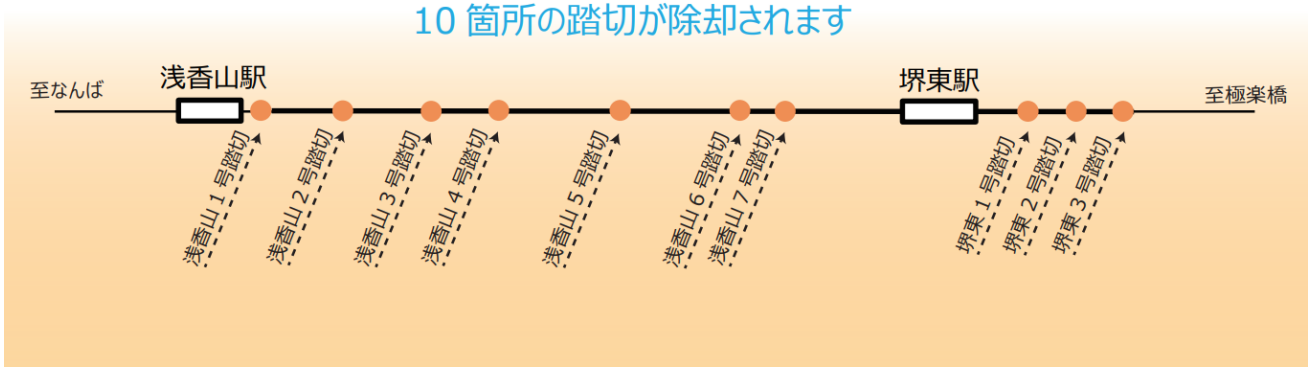
2040年度に完成予定の南海電気鉄道高野線連続立体交差事業では、浅香山駅・堺東駅の高架化に伴い10箇所の踏切を除却し、合わせて側道や駅前線などを整備することで、安全で円滑な交通の確保や中心市街地の活性化が期待されます。

完成イメージ図


堺東駅（西側）


堺東駅（北側）


側道（堺東駅より北側付近）




堺東駅前周辺

※パースは、将来をイメージしたものであり確定したものではありません

堺都心部を取り巻く状況

堺都心未来創造ビジョンに位置づけられた取組の推進

令和5年策定の「堺都心未来創造ビジョン」に基づき、堺東、堺駅・堺旧港、環濠の各エリアにおいて、瓦町公園周辺の更新や大浜北町市有地活用事業など、魅力を「磨く」様々な取組が進められています。

